

K E  
気

SGH 通信

K O H  
高

海を素材とするグローバルリテラシー育成  
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第10号 平成29年7月5日発行

防災ワークショップ・防災講演会を実施

～チームとして災害に対応する力を養う～

6月21日(水)、6・7校時目に本校と気仙沼西高校の1年生(計280名)を対象に本校防災主任の長根教諭による防災ワークショップ・防災講演会を実施しました。第1部では「そのとき、どうする?」と題して大雨を想定したケーススタディを行いました。長根防災主任から「チームとは一人では実現できない目的を達するためにつくられた組織であり、防災チームの目的は命を守ることである。」とチームの意義についての説明を受けた後、山間のコテージに2泊3日の宿泊研修に出かけた場面を想定したケーススタディに挑戦しました。“避難に必要な持ち物の相談”や“天候の変化に伴う避難場所の選択”など天候状況を把握しながらチームで合意形成を図り適切な行動することの難しさと重要性を学びました。第2部では、長根防災主任からケーススタディの振り返りを交えた「本校の防災学習」についての講演を行いました。今後、生活防災委員会を中心とした生徒主体の防災訓練や宮城県教育委員会が作成した「みやぎ防災教育副読本」を活用した授業を各教科で実施するなど本校独自の効果的な防災教育を展開していきます。

本校の防災学習のねらい

- ◎「命を守る行動ができる人」を育てる。
- ◎発災時行動力に資する「自律的思考力」を涵養する。  
※自律的思考力・・・発災時行動には、状況に応じて命を守るための思考力や判断力が求められる。こうした資質・能力を育成するために必要な命を守ることを主体的に学び考える姿勢
- ◎協働による防災チームの育成を目指す。
- ◎将来にわたって集団や社会に主体的に参画する意欲を養う。

想定場面

2日目：午前から雨。午後の屋外活動は中止。コテージで待機状態。天気予報は今夜から明日朝にかけて大荒れ。  
Q：避難時の持ち物を相談しなさい。(3分)

災害への備え① 避難場所の確認



避難の手がかりは、この地図！

午後1時→大雨注意報  
Q：待機or避難？(1分)  
午後3時→大雨警報に！  
Q：待機or避難？(1分)  
午後4時→土砂災害警戒情報  
避難勧告  
Q：待機or避難  
午後8時→洪水警報も発令  
Q：待機or避難？(1分)  
午後11時→大雨特別警報  
河川氾濫危険情報  
Q：待機or避難？(1分)  
午前6時：空は晴れ！  
大雨警報は継続  
振り返り  
天候変化の予測と地理的条件を総合的に判断し、チームとしての確かな避難行動ができたか？



待機？避難？1分で決める。1分だ！



俺たち、やばくね？

## テクニカル講座 ～情報収集と表現のテクニックを学ぶ～

6月28日（水），1学年の「地域社会研究」の時間を3コマ使い，「レポート文章講座」，「IT活用講座」，「図書情報講座」の3つの講座を実施しました。7月からは，グループ編成と研究テーマの絞り込みに入ります。テクニカル講座の実施内容は次の通りです。

### ◎レポート文章講座

担当者オリジナルのプリントを用いて，思考方法の広げ方，説得力のある意見文の書き方を学ぶ講座

### ◎IT活用講座

コンピュータを使用し，インターネットを用いての情報検索，新聞データベース検索，論文検索の手法を学ぶ講座

### ◎図書情報講座

文献の探し方，校内外の蔵書検索方法，パスファインダー，レファレンス共同データベースの活用方法，参考文献リストの記載方法を学ぶ講座



レポート文章講座：大講義室



IT活用講座：第2PC室



図書情報講座：記念館

## 「創造類型って何？」 1年生創造類型座談会を開催

6月21日（水）・22日（木）の放課後，“創造類型について詳しく知りたい”という1年生の希望者を対象に創造類型（2年生）のメンバーとの座談会を実施しました。21日は気仙沼西高校の1年生11名と2年生3名，22日には気仙沼高校の1年生45名と2年生8名が参加。先輩から“創造類型を選んだ理由”や“授業の様子”などの話を聞き，グループごとの座談会では自分の進路との関連性や研究活動の具体的な取組について積極的に質問する姿が見られました。



創造類型の先輩から一言



座談会には教頭先生も参加



今，取り組んでいる研究は・・・

## 「総合的な学習の時間」の取組

「総合的な学習の時間」では志教育（※探求的な進路学習）を中心に取り組んでいます。1年生では，変わりゆく社会との関わり方から職業・学問を探究する学習に取り組んでいます。自己理解から始まり，キャリアセミナーでの多くの社会人との交流や上級生からの情報をとおして「10年後の自分と社会との関わり」を考えていきます。2年生では，希望する学問分野別にグループで課題研究に取り組みます。学問探究を進路達成意欲へとつなげ，志望理由書を作成します。また，卒業後の学びの見通しが持てるように「学びの設計図」を次年度に作成します。3年生では，ディベートや昨年度作成した志望理由書の見直し，進路別の模擬面接や小論文指導などに取り組みながら進路達成に活用できる力を養成します。

※自分の進路を求める・・・「探求」，学問等を追究する・・・「探究」というように使い分けています